

## 「歳時記をとりいれる」

新年の始まりである元日は、昨日となんら変わらない冬の一日なのに、特別な日に思えてきます。それは初詣や年賀状、おせち料理など、お正月ならではの行事を私たちが大切にしているからかもしれません。

行事の「形」を伝えることと同時に、それに込められた「心」を伝えることに深い意味があります。例えば、節分。四季のある日本には、季節の分け目が「立春」「立夏」「立秋」「立冬」とそれぞれあり、その前日が節分となります。なかでも子どもの時から馴染みのある春の節分には、これから始まる新しい季節を不幸や災いなく過ごすことができますようにと願いを込めて、「鬼は外！福は内！」と豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。節分だから豆まきをするという形式だけではなく、その意味を知ること、日本人の知恵と自然を敬う心に気づくのではないかと思います。

四季の事物や年中行事は私たちの生活の中に数多くありますが、その中に気持ちを傾けてとりいれているものはどれくらいあるのでしょうか。あつという間に過ぎてしまう一年。今年は、季節の行事や旬の食材にも目を向け、歳時記を生活にとりいれてみませんか？何気ない日々の暮らしはきっと、愛おしく楽しいものになっていくことでしょう。

### 『日本の365日季節の道しるべ』



365日を豊かに彩る季節の言葉の意味や行事の由来、その時々々の気象の有様と注意点、その楽しみ方を記した、気象で紐解く暮らしの歳時記。詩歌や小説作品のフレーズも掲載。

日本気象協会/著  
マガジンハウス  
2階一般 451 ニ

### 『子どもと楽しむにっぽんの歳時記』

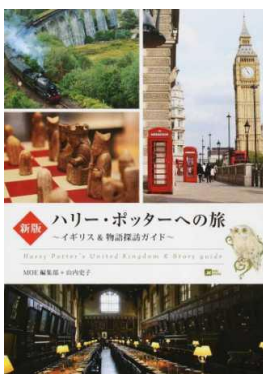
#### 食と手作り12か月』



節分、七夕、お月見…。季節ごとにたくさんある年中行事のなかから、子どもと一緒に楽しめるものを選び、由来や言葉の意味とともに、祝い方や飾り方、旬の食材や料理の作り方などを紹介する。

主婦と生活社  
2階一般 386.1 コ

## 新刊ピックアップ



### 『ハリリー・ポッターへの旅 イギリス&物語探訪ガイド』

MOE 編集部/[著]  
山内 史子/[著]  
白泉社  
M933.7 ロ

イギリス全土の「ハリリー・ポッター」ゆかりの地を巡り、隠された作品の秘密に迫る。物語のすべてを永遠に胸に焼きつける、永久保存版ガイドブック。  
新生ロンドンのハリリー・スポットなどを追加した新版。

# 行事報告

# 「図書館でがんを学ぼう！話そう！」

12月10日に「図書館でがんを学ぼう！話そう！」を開催しました。参加者がその場で質問し、講師の長崎みなとメディカルセンター 市民病院の峯 孝志先生やお出かけ隊のみなさんにお答えいただく参加型の講座でした。がんの名前の由来を皮切りに、就労支援、サイバーナイフ、予防、緩和ケアなどのお話のほか、リハビリで実際に使われている体操を一緒に行う場面もあり、幅広いテーマで豊富な情報をお届けするイベントとなりました。

次回は、2月18日に実施します。「参加型は苦手・・・」「その場では質問が浮かばない」「人前で話すのは恥ずかしい」という方もご安心ください。事前に講師への質問を募集します。回答を聞くだけという参加も可能です。どうぞお気軽にご参加ください。

## 次回講座のご案内

日付：2月18日(土)

時間：13時～16時

講師：峯 孝志先生

(長崎みなとメディカルセンター 市民病院)

※詳細は館内のポスター・ちらし、または  
図書館のホームページでご確認ください。



## ブックリレー 「お年玉とお金」

お正月は、財布の紐が緩む時期です。お年玉をもらって初売りに出かける方も多いでしょう。まず、ご紹介する作品は『バスを待って』におさめられている短編小説「お年玉」です。主人公は、元旦生まれの主婦。出産の翌年からご主人にお年玉をもらうようになるのですが、あることをきっかけにそのお年玉はこれまで以上に感慨深いものになります。お年玉を通して家族の絆を感じることができる物語です。

ところで、もらうお年玉が福沢諭吉だったら、喜びもひとしおではないでしょうか。1万円札の顔である福沢諭吉著『学問のすすめ』の冒頭「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」は、有名な言葉です。しかし、原書は文語体のため難しく、手に取りにくいかもしれません。そこで今回おすすめするのが齋藤孝訳の『学問のすすめ 現代語訳』です。今を生きるわたしたちの心にずっと染みこんでくるような現代語で書かれているので、とても読みやすくなっています。福沢諭吉が勧める「学問」とは、身分の上下なく全ての人が学び、何を常識とするか判断力を持ち、すべきことを考え実行することです。そうすれば世の中を良くしていくことができると書いています。明治時代に限らず、これから生き抜く知恵が詰まった一冊です。

(スタッフ 濱邊 康子)

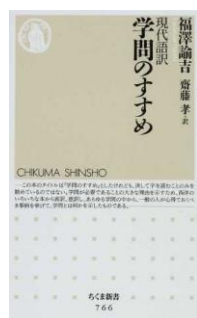


### 『バスを待って』

石田 千/著

小学館

F913.6 イシ



### 『学問のすすめ 現代語訳』

福澤 諭吉/著

齋藤 孝/訳

筑摩書房

2階一般002フ

次回のテーマは  
「ひかり」  
です

# 寄贈紹介

## 創立 80 周年記念

### 長崎ロータリークラブ文庫

長崎ロータリークラブは、昭和 11 年に創立され平成 28 年に 80 周年を迎えられました。そこで 80 周年記念事業のテーマを「長崎の発展と未来を担う若人の育成」とし、若人の育成発展に寄与できる事業をとの趣旨で、長崎市立図書館の青少年向けの図書の充実を願って 611 冊(100 万円相当)の図書を寄贈されました。



### 長崎南ライオンズクラブ児童文庫

ライオンズクラブ国際協会長崎南クラブは、平成 26 年に設立 45 年を記念して、地域住民から要望が高かったカーブミラー・子ども基金・学校施設防犯カメラを長崎市に寄贈され、あわせて児童図書 68 冊(10 万円相当)を寄贈され文庫を創設されました。その後も引き続き寄贈していただき、今年度もカーブミラー等とともに、36 冊(5 万円相当)の図書を寄贈されました。これまでにいただいた図書は 139 冊になります。



### 長崎天領ライオンズクラブ児童文庫

ライオンズクラブ国際協会長崎天領クラブは、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で平成 14 年度にチャリティーコンサートを開催し、その収益金で児童図書 64 冊(8 万円相当)を寄贈され文庫を創設されました。その後も引き続き寄贈していただき、今年度は長崎くんち出店の収益金の一部で、38 冊(5 万円相当)の図書を寄贈されました。これまでにいただいた図書は 705 冊になります。



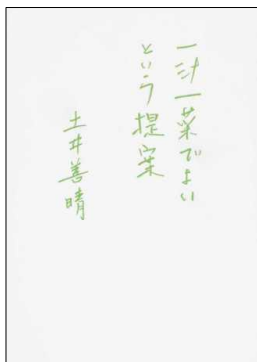
# 図書館ラジオ

## 『一汁一菜でよいという提案』

土井 善晴/著  
グラフィック社  
K590.6 D

一汁一菜とは「ご飯、味噌汁、漬物」を原点とする食事の型。料理研究家・土井善晴が、生活のリズムをつくる柱となる、一汁一菜という日本人としての「生き方」を提案する。

毎月第 2 金曜日午後 2 時、長崎シティ FM(81.3 MHz)で放送していた「ウィーパライブラリー」のコーナーは、2016 年 12 月をもって終了いたしました。これに伴い、としょかんだよりでの紹介も今回で最後です。長い間、ありがとうございました。



# 今月のイベント・展示

## イベント

7日	土	定期上映会「あの子を探して」(昼)
8日	日	大きい子向けおはなし会
11日	水	定期上映会「がんばれ!ベアーズ」(夜)
12日	木	あかちゃんおはなし会
13日	金	「ステンドグラス巡礼」写真展 ※1/15(日)まで
19日	木	小さい子向けおはなし会
20日	金	定期上映会「がんばれ!ベアーズ」(昼)
22日	日	大きい子向けおはなし会
26日	木	小さい子向けおはなし会
2月2日	木	あかちゃんおはなし会
5日	日	大きい子向けおはなし会

※イベントの詳細は、館内のポスター・ちらし、またはホームページで確認できます。

## 展示

### 1階展示

- 1階特集 はじまりの本棚
- 1階ミニ 時代小説を読む
- 児童特集 はつわらい
- 児童ミニ ことしはなにどし?(~1/9)  
鬼のおはなし(1/11~)
- YA特集 扉をひらこう ~新しいコトにチャレンジ~
- YA投稿 10年後の未来予想図
- イベント関連展示

長崎歴史文化観光検定関連展示『長崎検定に挑む!』(~1/29)

### 2階展示

- 2階特集 「9」
- 長崎県美術館連動展示  
デンマーク・デザイン

## 長崎市(長与町・時津町)外へ転出される方へのお願い

- ★図書貸出券が使用なくなりますので、市立図書館  
もしくは最寄りの公民館図書室等へお返してください。
- ★借りている本は転出前(返却期限内)にご返却ください。

